

第1回奨学生をつどい

けんわ♥NASUTAMA

発行
本部看護対策室
西郡 明子

民医連看護を学び、 奨学生としての自覚をもつ



今回の、第1回目の奨学生をつどいは、1年生も2年生も改めて、健和会の奨学生として自覚を持つってもらう目的で、健和会専務理事増田明子氏と統括看護部長高崎玲子氏にお話をいただいた。健和会の奨学生として職員みなに支えられて学業に専念出来ていること、一緒に働ける日を楽しみに日々応援していることを伝えた。そのことを知り、奨学生からは、「身が引き締まる思いでした。しっかりと勉強して看護師になる決意を確認することが出来た。」先輩が沢山いるので心強い、頼っていきたい。」等の意見が聞かれ、奨学生としての意識向上が図れた。



民医連の医療活動・看護学生委員の活動について学ぶでは、看護学生委員の活動をPPで紹介し今後も奨学生と色々な活動で関わっていくことを説明した。訪問看護師が患者家族と寄り添う看護をDVDにまとめ視聴した。1年生のグループディスカッションでは、活発に意見交換できるグループもあれば、思うように意見交換が出来ないグループもあったが、「患者のニーズに応え、取り組む看護師がかつこよかった」「自分もそんな看護師になりたい」との意見が聞かれた。2年生は、「患者さん・家族に寄り添える看護師になりたい」と多くの意見が聞かれ有意義な意見交換となった。

冬には2回をつどいを開催予定だが、今後は臨地実習も控えている。民医連の医療・看護活動を体験する場として実習に対する不安の軽減や、学習を深める場となるよう努めていきたい。今後も、ご協力の程よろしくお願いいたします!!



法人看護学生委員より



増田専務理事



高崎統括看護部長